

日本臨床細胞学会京都府支部 平成 24 年度教育研修会時定例幹事会議事録

日時：平成 24 年 12 月 16 日（日）13 時 15 分～13 時 45 分

場所：ホテル京阪 京都 2 階桜の間

議 事 内 容：

【報告・連絡事項】

1) 学術委員会報告（伊東委員長・川辺副委員長）

第 29 回日本臨床細胞学会京都府支部学術集会開催概要

期日：平成 24 年 7 月 15 日（日）

会場：京都大学百周年時計台記念国際ホール

要望講演：「病理細胞診分野への遺伝子染色体解析の応用」

郡司 昌治 先生（名古屋第一赤十字病院 細胞診分子病理診断部）

協賛：アークレイ・マーケティング株式会社

特別講演：「日本における子宮内膜細胞診 ー現在の問題点と解決の方向性ー」

矢納 研二 先生（J A 三重厚生連 鈴鹿中央総合病院 婦人科）

一般演題：7 題

● 参加者数：128 名（専門医 22、検査士 93、その他 13）

2) 教育委員会報告（南口委員長・真下副委員長）

第 14 回教育委員会

日時：平成 24 年 12 月 16 日（日）

会場：ホテル京阪京都

教育講演 1 「乳腺細胞診—良悪性の鑑別に迷う症例の細胞所見の分析—」

是松 元子先生（埼玉社会保険病院病理部）

教育講演 2 「乳腺の良悪性境界病変 組織学的所見を中心に」

桜井 孝規先生（済生会野江病院病理診断科）

スライドカンファレンス

症例 1 耳下腺腫瘍

出題：由木 はる美（京都府立医科大学附属病院病理部）

回答：中村 祥子（宇治徳洲会病院検査科）

症例 2 乳腺穿刺

出題：野田 みゆき（京都市立病院臨床検査技術科）

回答：深田 智子（第二岡本総合病院臨床検査科）

3) 精度管理委員会報告 (岸本委員長・加藤副委員長)

第 24 回生活習慣病予防健診細胞診研修会報告

期日：平成 25 年 2 月 3 日 (日)

会場：アークレイ京都研究所

講師：掘技師 (富山大学)、中泉先生 (京都大学)

細胞診症例検討：岡部先生 (滋賀医科大学)

4) 細胞検査士会報告 (三宅細胞検査士部会長)

奈良と京都・古都を結ぶ勉強会は、開催未定である

平成 25 年 4 月 14 日 (日) 子宮の日子宮頸がん検診啓発活動

5) その他

(1) 近畿連合会評議委員会と診断学推進協会代議員会の報告 (三宅)

・近畿連合会

◇ 学会援助金の値上げ (2013 年より) が承認された

◇ 2013 年 9 月 8 日 第 39 回近畿連合会学術集会 (和歌山県民文化会館) 村田先生

◇ 学術集会ローテーション 2014 年奈良 ⇒ 2015 年京都

・診断学推進協議会

◇ 公益法人化後は、都道府県支部は日本臨床細胞学会の属団体ではなく独立した団体となるため、細胞学会から都道府県支部に所属することの強制はできない

◇ 資格更新の単位を引き上げ、「支部に所属している」ということに対してクレジットを与える (支部に所属していれば従来と更新単位は変わらないこととなる)

◇ 公益法人化後も、日本臨床細胞学会京都府支部の名称は使用できる

(2) 第 59 回日本検査医学会学術集会(京都)の細胞診企画

・ 会期：平成 24 年 11 月 29 日 (木) ～12 月 2 日 (日)

●細胞診症例検討 一報告書作成にむけた所見のまとめ方を中心にー

日時：症例提示 11 月 30 日 (金) 10 時 00 分～12 月 1 日 (土) 13 時 00 分

症例解説 12 月 1 日 (土) 13 時 00 分～14 時 50 分

<細胞検査士参加者数：32 名>

●パネルディスカッション：子宮頸がんの征圧を目指して

日時：12 月 1 日 (土) 15 時 00 分～17 時 00 分

<細胞検査士参加者数：27 名>

●シンポジウム 14 「実践 EUS-FNA ～検体処理法を中心に～」

日時：平成 24 年 12 月 2 日（日） 9 時 00 分 ～11 時 00 分

<細胞検査士参加者数：14 名>

(3) その他

特になし

【検討議案】

1) 今後の研修会の開催について

- ◇ がん診療拠点病院の予算が二大学の病理部に出ているので、一部を利用する予定であったが、がん診療拠点病院の補助金が打ち切られることとなり、再び研修会の会場費の問題に直面することになった
- ◇ 研修会を 3 回から 2 回にする意見もあったが、細胞検査士資格更新のクレジット不足で困る会員が出てくるため、3 回開催を維持する
- ◇ 受益者負担の考えで参加費徴収するか、3 回のうち 2 回は利便性の高い会場で、1 回は利便性が多少悪くても大学等の会場費のかからない会場を選択することで、会場費問題を回避していく

2) 専門医クレジットについて

- ◇ 専門医クレジットの申請を実施していなかったが、次回の研修会から専門医クレジットを申請する